

変わりゆく社会を

高校生と保護者は

どう受け止めているのか

第12回となる本調査は、社会では既に活用が始まり、働き方や学びにも影響を及ぼし始めているAIについて、複数の設問を新たに設けています。今の高校生たちが社会に出るころにはさらにAIの影響が高まると考えられます。そうした「未来」を高校生や保護者がどう捉えているか、その未来に対して社会や教育現場の「今」がどう受け止められているか、最新の調査結果から考えていきたいと思います。

調査概要

高校生と保護者の進路に関する意識調査 2025

一般社団法人全国高等学校PTA連合会 × 株式会社リクルート 合同調査

- 調査対象 / 全国の高校2年生とその保護者：全国高等学校PTA連合会より依頼した9都道府県の公立高校27校(各2年生3クラスの生徒とその保護者)に発送し、協力を得た
- 調査方法 / ①高校生：ホームルーム時にWebアンケート案内を配布し、Web画面から回答
②保護者：高校生から保護者へWebアンケート案内を手渡して依頼、Web画面から回答
- 調査期間 / 2025年9月11日(木)～2025年10月20日(月)
- 有効回収数 / 高校生：1,584名、保護者：1,291名

回答者プロフィール

高校生

- 性別 / 男子46.4% 女子51.6% その他2.0%
- 高校タイプ / 普通科75.9% 専門学科19.2% 総合学科0% その他4.9%
- 地域分布 / 北海道3.0% 岩手県13.4% 神奈川県7.8% 東京都13.6% 静岡県15.5% 富山県13.3% 滋賀県11.4% 香川県8.3% 長崎県13.8%
- 高校卒業後の希望進路 / 大学69.8% 短大1.8% 専門学校12.6% 専門職大学0.6% 専門職短大0.3% 海外の大学等0.2% 就職14.0% その他0.8%

保護者

- 続柄 / 父親14.3% 母親85.1% その他0.6% (無回答3.0%)
- 子どもの性別 / 男子49.8% 女子49.3% その他0.9%
- 地域分布 / 北海道8.0% 岩手県10.6% 神奈川県6.7% 東京都11.8% 静岡県14.9% 富山県13.6% 滋賀県12.9% 香川県8.8% 長崎県12.5%
- 子どもに対する高校卒業後の希望進路 / 大学52.6% 短大0.5% 専門学校5.8% 専門職大学0.8% 専門職短大0.5% 海外の大学等0.2% 就職7.3% その他0.2% 子どもが希望する進路なら何でもいい32.1%

※グラフの数値は、小数点第2位以下を四捨五入して表示しています。
※本文中は調査結果の数値を小数点第1位四捨五入で記載しています。

構成・文 / 長島佳子

未来をどう捉えているか

高校生も保護者も、今後の社会には

よくも悪くもAIの影響を予想している

未来展望に不安をもつ保護者が増加

変化が激しい時代と言われて久しいが、変化する社会の捉え方は高校生でも保護者でも人それぞれだ。高校生にとってこれからの社会が好ましいかどうかについての設問に対し(図1)、高校生は、「とても好ましい社会だ」が5%、「まあまあ好ましい社会だ」が52%を占め、合計では57%と過半数が「好ましい」と回答した。しかし、時系列では「とても好ましい社会だ」が前回調査の9%から約4ポイント減少。2011年の第5回調査から前回まで増加傾向だった「好ましい・計」が14年ぶりに減少に転じ、この傾向は保護者も同様であった。

保護者の回答では、「好ましい・計」が45%で、「好ましくない・計」(「あまり好ましい社会ではない」と「非常に好ましくない社会だ」の合計)の55%より下回っている。前回調査では「好ましい・計」が50%、「好ましくない・計」が43%と、調査開始以来初めて好ましいと考える保護者の方が多くなったが、今回は後退した結果となった。

これからの社会への好ましさへの回

答理由について(フリーコメント①および②参照)、高校生、保護者とも、「好ましい理由」「好ましくない理由」の双方に、AIをはじめとするテクノロジーの発達を挙げたコメントが目立った。好ましい理由ではAIなど技術の進展によって今まで解決できなかった社会課題の解決への道筋に期待する声などが多く、好ましくない理由にはAIに既存の職業が取って代わられたり、AIの出現で人間が思考しなくなったりすることへの不安の声が見られた。

AI関連以外にも高校生と保護者のコメントの傾向は似通っており、好ましい理由には、多様性を認めたり働きやすい社会になったりすることや、進路の選択肢が広がっていることが挙げられている。一方で、好ましくない理由には、国際情勢や国内の政治情勢の不安定さ、物価高、税金の高さ、少子高齢化、環境問題などの社会課題が挙げられていた。特に昨年は、国際紛争が多発し、国政選挙がSNSの影響で従来とは異なる様相を呈し、米などの食料品の物価高騰が相次いだことが「好ましい・計」の減少傾向につながったことがコメントにも散見された。

保護者だけでなく高校生の回答に

*「高校生と保護者の進路に関する意識調査2025」結果詳細はリクルート進学総研Webサイト (<https://souken.shingakunet.com/research/>) でご覧いただけます。

フリーコメント /
これからの社会の
好ましさについて

高校生

<好ましい・計>

- みんなAIに頼っていて、考えることを放棄している気がする。でも、世界中の人と繋がれて、交流できるから楽しいし、視野が広がる。[岩手・県立]
- これからの社会はAIや技術の進歩で、人の生活や仕事がより便利で効率的になり、人間とAIが協力して多くの課題を解決できる可能性が高い。[岩手・県立]
- 最近は一人的個人にしっかり向き合ってお互いを受け入れるのが当たり前になっているので、個人的にはいい社会だと思います。[長崎・県立]
- 自分がやりたいことが選べる社会だから。会社が合わなかったら、転職する選択もできるから。[東京・都立]
- 自分の行動次第でどうにもできる社会だと思うのである意味自分のやりたいことをやることができる社会なのかもしれないと思うから。今の社会は基本的に先が見えなくて暗い話も多いが、そんな中でも好きなことを見つけて自分の個性を発揮することができる人は強いと思う。[静岡・県立]

<好ましくない・計>

- AI技術の発展などによって職業選択の幅が狭まっていることに危機感を感じているため。[滋賀・県立]
- 最新技術(AIなど)の本質的な部分について社会全体が鈍感であるように感じるため。[富山・県立]
- 全て自己責任で、助け合いの精神が薄れているように感じるから。[岩手・県立]
- 税金が高くなったり、社会人に求められるスキルが高くなっているから。[富山・県立]
- 超高齢社会が近づいていて納税額は増え、返ってくる量が少なくなる。また政治やオールドメディアについて、社会的不安が増大している。そのことについてSNSで情報が飛び交っているのが不安。[東京・都立]
- 政治家が怠けているし、国民も若者は政治に関心を持たず、自分のことしか考えていないから。もっと国全体のことを考えて行動してほしい。選挙に必ず行ってほしい。[滋賀・県立]

図1 「これからの社会」の高校生にとっての好ましさ (全体/単一回答)

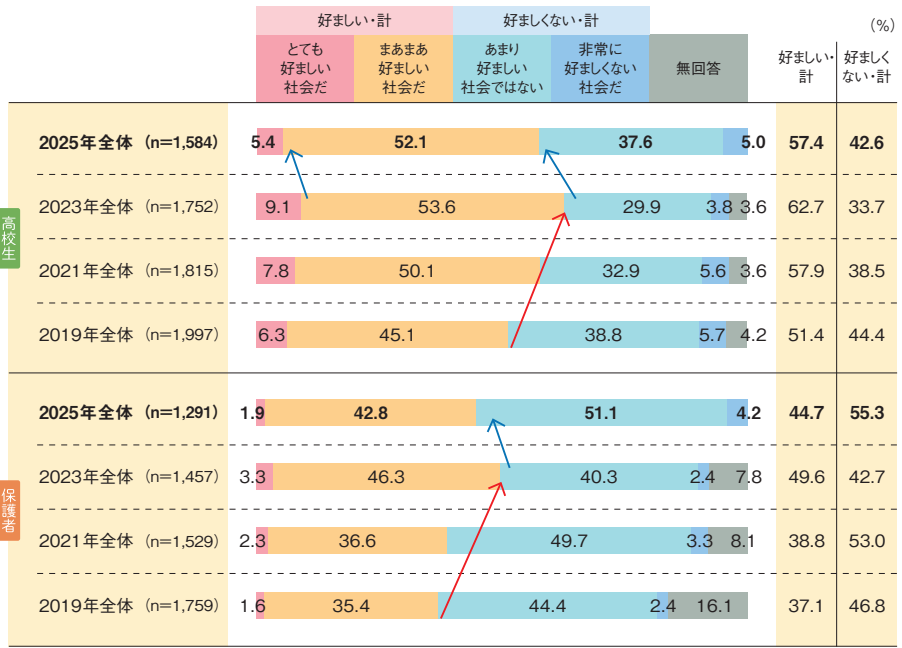
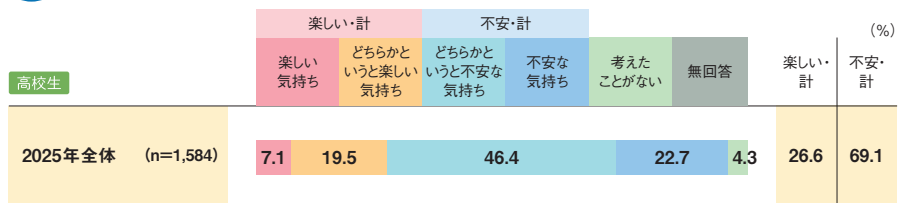


図2 【高校生】進路を考えると、高校生はどんな気持ちになるか (全体/単一回答)



も「税金」や「物価高」、「政治」についての回答が多く見られ、多くの高校生が政治や経済に関心をもちつつ不安を感じている様子がうかがえる。

進路を考えたときの高校生の気持ちについては(図2)、「楽しい・計」が27%、「不安・計」が69%で、時系列では大きな変化はなかった。「不安」の回答理由では、やりたいことが見つからない、志望校に合格できるかわからない、失敗したくない、勉強が大変、面倒くさいという声が多数あった。

進路の相談相手(複数回答・図版割愛)は、「母親」(85%)が突出して高く、時系列でも母親は80%以上を維持している。母親に相談する理由では、自分のことをよく知っている、いつも気にかけてくれているが多数を占めた。次点の「父親」は漸増傾向で、今回49%とほぼ5割に達した。少数派ではあるが「兄弟」も漸増しており(今回22%)、わずかずつではあるが家族への相談が増えている。特筆すべきは、フリーコメ

ントで、生成AIに相談しているというコメントが見られたことだ。生成AIと会話をしたり、友達に言えない悩みなどを相談したりする若者が珍しくなくなってきたが、進路の相談にも生成AIを活用している生徒が出てきていることがわかった(後述の図8)。

AIが与える影響は高校生より保護者が現実的に感じている

AIの出現や急速な発達が自分の進路や将来なりたいたい姿に影響を与えたかについて(図3)、影響が「あった」と回答した高校生は14%に留まった。「影響があった」の回答理由については、ネガティブ・ポジティブ双方の受け止め方が見られた。ネガティブな影響と捉えている生徒は、自分の目指す職業がAIに代替される不安が多く、ポジティブに捉えている生徒はAIに代替されない職種を考えるようになったことや、AIの出現によって多様な職業を知るきっかけになり視野が広がったと回答している。

保護者に対して、子どもに期待する将来像や身につけほしいスキル・スタンスがAIの急速な普及を受けて変化したかを尋ねたところ(図4)、「どちらともいえない・わからない」が過半数を占めた一方で、「変わった」の回答は15%。変わったと回答した人の理由は、AIを活用する能力がこれからの社会で必要になることを実感しているコメントが多く、保護者自身の経験や社会人の先輩としての姿が見えてきた。

保護者に、子どもの将来のキャリアへのAIの発展や社会のグローバル化による影響を尋ねたところ(図5)、「働き方が多様になる」(58%)、「求められるスキルが変化する」(53%)が5割を超え、「効率化が進む・生産性が向上する」「新たな職種や仕事が生まれる」も4割を超えた。多くの保護者が、将来の子どもの現在は現在の社会人とは異なる働き方をしたり、現在はない職業に就いていると予想している。

コミュニケーション能力を高校生はどう捉えているか

AIの進化や社会の変化が速いなかで、どのような能力が必要になると思いかを高校生自身に尋ねたところ(図6)、「コミュニケーション能力」(59%)が最も高く、次いで「AIを活用する力」(43%)が高かった。

一方で、経済産業省で定義されている「社会人基礎力」の12の要素のうち、「将来必要とされる能力」と、現在持っていると思う能力をそれぞれ3つずつで選んでもらったデータを時系列で比較したのが図7だ。12要素のなかで、「働きかけ力」「発信力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」などがコミュニケーション能力に含まれる力と考えられる。しかし、将来必要とされると考えている能力では「発信力」が22%だったものの、ほかの力は20%を下回っており、決して高い数値を示してはいない。

図6と図7での回答傾向の違いから

フリーコメント② / これからの社会の好ましさについて

保護者

<好ましい・計>

- ITやAIをうまく活用できる時代になっている。[北海道]
- ICT化など技術革新が進み、得意分野で自分の能力や、技術を伸ばしていくことが可能な社会だから。[富山]
- 環境問題や人権問題等国家や異なる価値観の者同士が意見をかわし、連携して、問題解決に取り組んでいる。ゆえに希望が持てる社会になるはずだ。[岩手]
- 今後ますますワークライフバランスを重視した働き方が推奨されていくと思うから。[富山]
- 以前から若い人の人口が減っているの、若くても実力次第で評価されやすい。また、発信する手段も豊富になり、前向きに捉えれば好ましい社会だと思う。[東京]
- 弱い立場の人間の意見も認める社会になってきていると感じるから。[東京]
- 経済・人間関係などにおいて不安要素もあるが、新しいことがどんどん生まれ、生き生きと活動できる環境も増えていると思うので。[神奈川]

<好ましくない・計>

- AIの発達により思考力や判断力の低下が発生していると感じる。SNSなどにより、人間関係の希薄さが、今後の社会にどう影響していくのか心配。[東京]
- あらゆる分野でAI導入が進み、人間の主体性がアルゴリズムによってコントロールされるようになるから。[岩手]
- SNSの普及でコミュニケーション能力が低下し、人間関係の関わりによる幸福度を感じにくい傾向が心配。[北海道]
- 地球環境、国際社会の中での日本の位置、紛争等の世界情勢、国内でのいろいろな格差など懸念事項が多く、親世代よりも複雑な時代を生きていくことになると思うので。[神奈川]
- 物価高、高齢社会、地球温暖化、少子化、働いてもお給料が安くて、もらえる確率の少ない年金を払わなくてはならない。高確率でやってくる巨大地震。世知辛い世の中なので。[滋賀]
- これから合った教育がなされてない。学校側も社会と交えた環境を作り、世界を早くから知るべき。[香川]

読み取れることは、「コミュニケーション能力」の実像を高校生が分解して理解できていないこともある。他方、漠然と「将来必要とされる力」と尋ねられるよりも、「急速なAI技術の発達・社会変化がある将来に必要な力」と具体的に尋ねられることで、未来社会をより鮮明にイメージして回答したとも考えられる。

そして、高校生が、現在持っていると考えている能力では、「働きかけ力」「傾聴力」「柔軟性」「状況把握力」の回答率が、「将来必要とされる能力」の回答率よりも上回っている。小誌は前号で「これからのコミュニケーションを紐解く」という特集を掲載した。そのなかで複数の識者が語っていたのは、「コミュニケーション能力には多面性があり、全員がすべての能力を持っている必要はない」ということだ。多くの高校生が考えるようにAIが進化した社会でコミュニケーション能力が必要とされるのであれば、自覚はなくとも

図3 【高校生】自分の進路や将来なりたい姿に対するAIの急速な普及の影響の有無 (全体/単一回答)

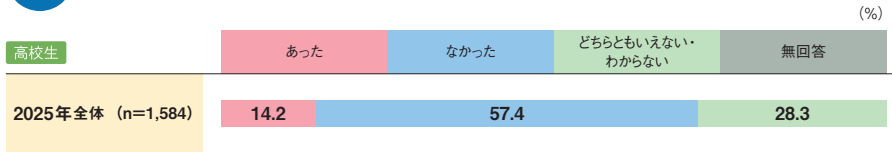


図4 【保護者】子どもに期待する将来像や身につけてほしいスキル・スタンスに対するAIの急速な普及の影響 (全体/単一回答)

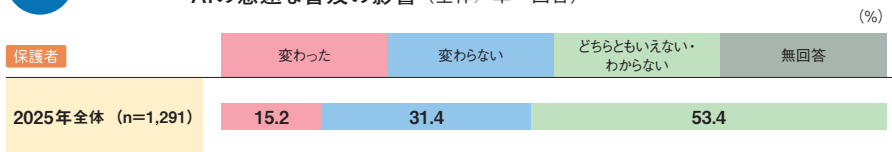
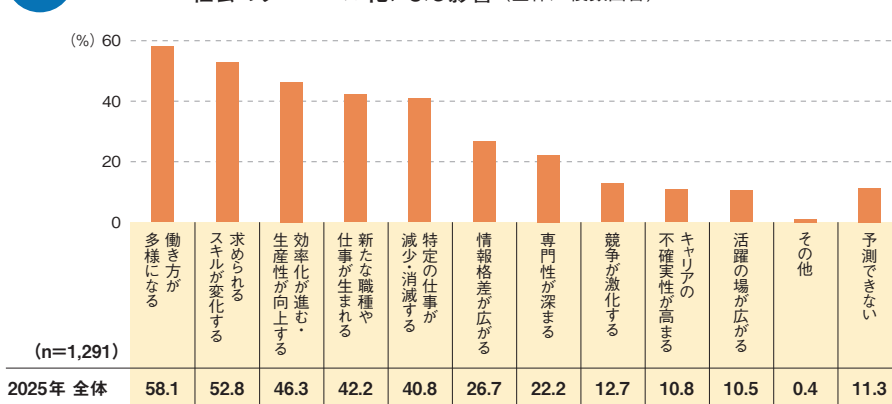
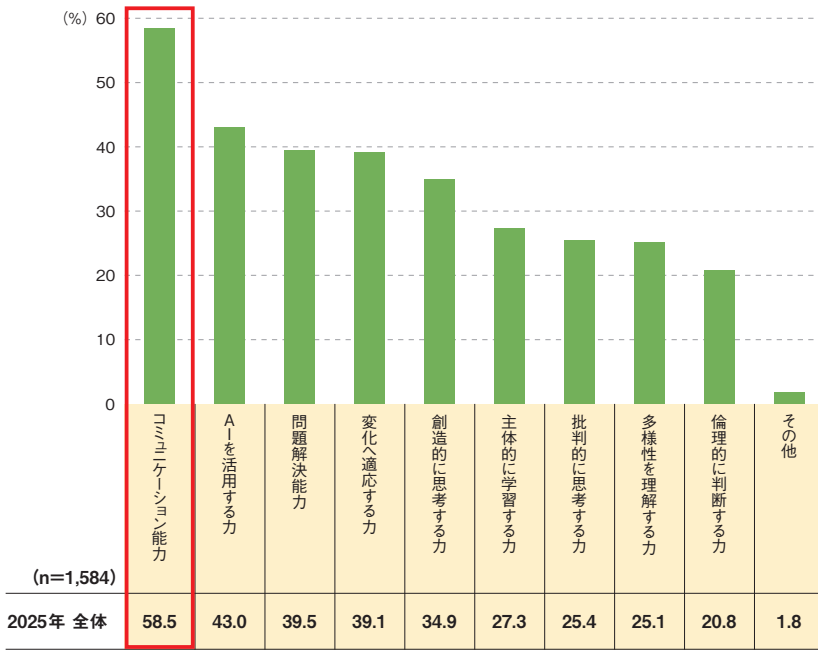


図5 【保護者】子どもの将来のキャリアや仕事に対するAIの発展や社会のグローバル化による影響 (全体/複数回答)



※「2025年全体」の降順ソート(「予測できない」を除く)

図6 【高校生】 急速なAI技術の発達・社会変化の中で、どのような力が必要になると思うか(全体/複数回答)



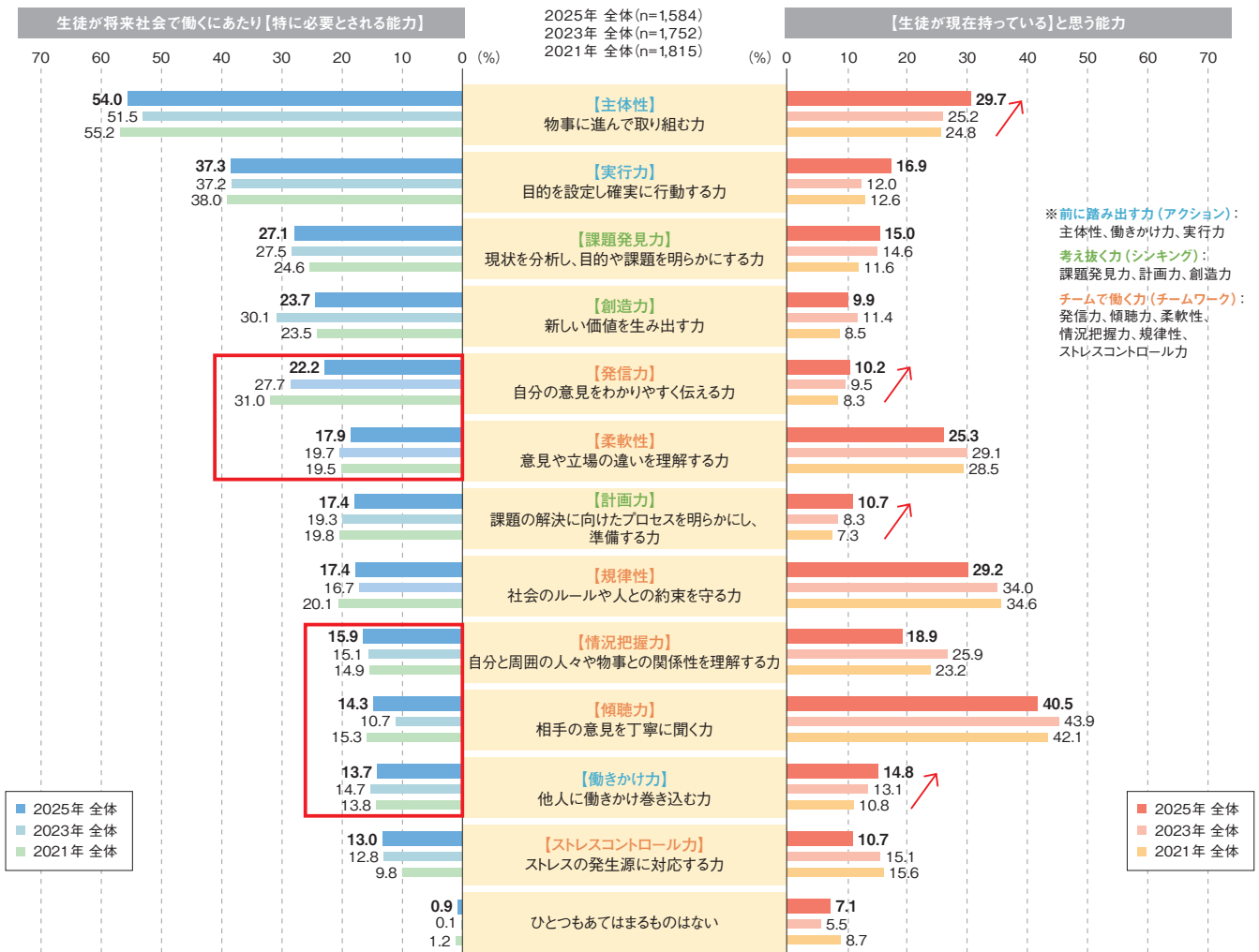
※「2025年全体」の降順ソート

生徒たちはその力の一部をすでに持っているのではないだろうか。コミュニケーション能力の多面性を知ること、生徒たちがAI社会を生き抜く自信につながるきっかけになりそうだ。

図7で見られたその他の傾向としては、生徒たちが現在持っていると思う能力のうち、「主体性」「発信力」「計画力」「働きかけ力」が増加している。また、「主体性」「実行力」「発信力」

は、毎回の調査で、将来必要とされる能力と、生徒たちが現在持っていると思う能力のギャップが大きい項目であるが、時系列でそのギャップが年々縮まってきている。現行の学習指導要領の核である主体的・対話的で深い学びや探究活動の実践によって、徐々に生徒たちに変化の兆しが見え始めたことがデータに現れていると言えるのではないだろうか。

図7 【高校生】 将来必要とされる能力と、現在持っていると思う能力(全体/3つまでの複数回答)・時系列(全体/複数回答)



※前に踏み出す力(アクション): 主体性、働きかけ力、実行力
 考え抜く力(シンキング): 課題発見力、計画力、創造力
 チームで働く力(チームワーク): 発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

生徒の学習、進路、娯楽にAIが浸透

AIに代替されない能力育成を学校に期待

AIは学習効率アップや、 学びの深化に貢献している

前ページまでは、これからの社会に
対する高校生や保護者の展望、進路
や将来へのAIの影響の捉え方などに
ついての考えを見てきた。ここからは、
そうした将来に対しての高校生の学
びの現状について見ていきたい。

高校生にAIやAI技術を利用し
たサービスの利用状況を尋ねたところ
(図表割愛)、「よく利用する」が34%
を占め、「時々利用する」まで含めると
合計76%が利用すると回答した。しか
し、現在では用語を検索するだけでAI
による概要が提示されたり、SNS
やニュースサイトなど多くのインターネ
ットサービスでは利用者の好みや検索
傾向に合わせた情報が自動的に表示
される。気づいていなくてもAIが浸
透し、既に利用していることへの自覚
が必要かもしれない。

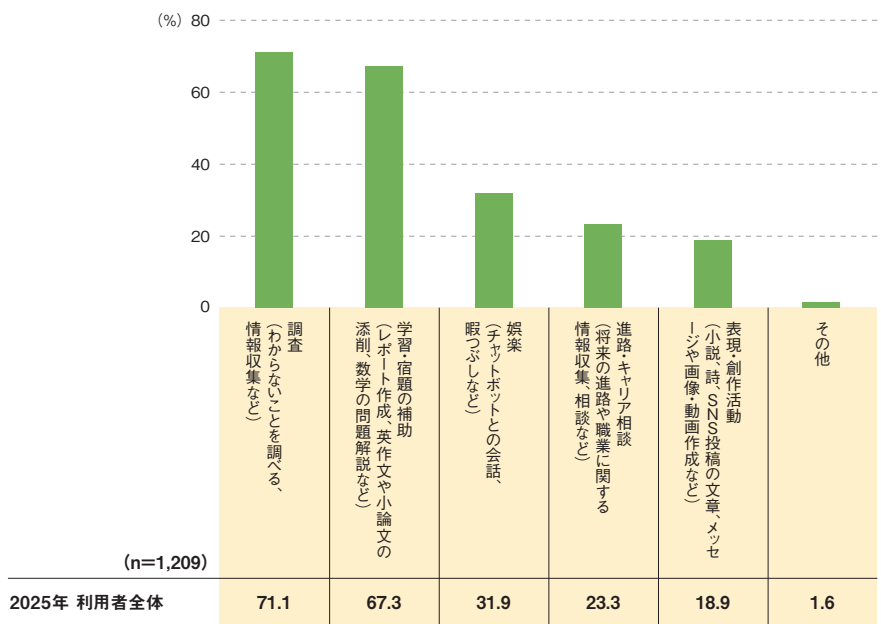
AIを利用する場面については(図
8)、「調査(わからないことを調べる、
情報収集など)」(71%)、「学習・宿題
の補助(レポート作成、英作文や小論
文の添削、数学の問題解説など)」(67
%)」が突出して高い。「娯楽(チャットボ

ットとの会話、暇つぶしなど)」も32%
と3割近く、「進路・キャリア相談」に
利用している生徒も23%おり、進路選
択にもAIが影響を与え始めているこ
とがわかる。

9ページでも触れたが、進路の相談
相手を尋ねた設問のフリーコメントで
も生成AIが登場している(この設問
の選択肢にはAIはなく「その他」の
回答のフリーコメントに出現)。相談相
手では「母親」が突出し、次いで「父親」
「友人」「担任の先生」と続いたが、「担
任の先生」の回答率は36%であった(複
数回答・図表は割愛)。図8のAIへの
「進路・キャリア相談」の23%をまだ少
ないとみるか多いとみるか、先生への相
談率と比して考察が必要かもしれない。
大学や専門学校で学部・学科をは
じめ、入試方法も多様化・複雑化する
現在において、進路の情報収集に生徒
がAIを活用したいと考えることは想
像に易い。AIの出現は進路相談・進
路選択の様相にも変化を与えはじめ
ていることが読み取れる。

学びへの意欲に対するAIの急速な
普及の影響について、「変わった」と回
答した高校生は22%で、現状では「変
わらない」が52%と過半数を占めた(図

【高校生】 AIやAI技術を利用したサービスの利用場面
(サービス利用者/複数回答)



※「2025年利用者全体」の降順ソート

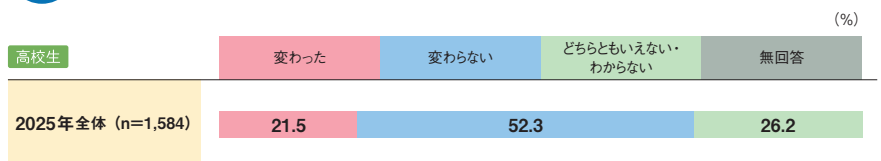
フリーコメント③ /

学びへの意欲に対するAIの影響

高校生

- 答えの解説をより詳しく知りたい時や教えてもらいたい問題がある時、先生や友達だと数回しか聞き返せないけどAIならわからないところをわかるまで質問し続けることができ、微妙にわからないところをそのままにせず解決できる。[岩手・県立]
- 専門家や、職人のような人に聞かないと知ることができないことが簡単に知ることができるようになり、自分で学べる範囲というものが、AIの普及によって広くなった。[富山・県立]
- 勉強の解説を頼んだ時、わかりやすく解説してくれたりわかまなお願いを聞いてくれるからやる気が湧く。[岩手・県立]

【高校生】 学びへの意欲に対するAIの急速な普及の影響有無
(全体/単一回答)



が(フリーコメント②)、思考の深まりを実感している高校生の存在は見逃せない。「変わらない」理由は、AIの使い方がわからないという声が多かったほか、AI情報の信憑性を疑う生徒もいた。最新テクノロジーへの親和性や使いこなす技術力が、生徒の学習進度や広がりにも影響する懸念を示唆している。

学校への期待と評価は人間にしかできない力の育成

今後ますます進化し、社会はもちろん生徒への影響が大きくなると予想されるAI。生成AIが提供する情報の信憑性には疑いの目もあるなかで、生徒たちは大人よりも速く親しんでいく可能性は大いにある。既に高校生対象のアプリ開発コンテストなども多数存在する時代だ。生徒たちが安全・安心にAIを取り入れていくには正しい知識や向き合い方が必要とされる。

そこで、高校生に最新のテクノロジーの活用方法について学校で学ぶ機会の有無を尋ねたところ(図10)、「ある」は26%に留まり、「ない」が48%と半数近くを占めた。日進月歩のAIについて、来年度の教科書では「情報」以外でもAIに関する記述が多数登場している。生徒たちが学習や進路相談にAIを取り入れ始めている状況を学校も把握し、AI活用について生徒と共に学ぶ機会を今からでも増やす検討をしてほしいかもしれない。場合によっては、テクノロジーを得意とする生徒

が講師を務めることができる可能性も考えられる。

AIが進化する時代にAI活用能力の育成とともにさらに考えなければならぬのは、この時代に人間にできることは何か、ということだ。保護者に対し、学校における「AIで代替されにくい能力」の養成有無を尋ねたデータが図11だ。「どちらともいえない」(46%)が多数派なものの、「養えていると思う」が13%、「やや思う」(30%)まで含めると43%が学校で養えていると回答。その理由としては(フリーコメント④)、教室での授業や探究活動、部活や行事など特別活動(特活)を含めた多様なカリキュラムが用意されていることやその実績を評価する意見が多数挙げられていた。学校現場には先生や友人など、人との関係を通してAIでは対応できない学びがあることや、探究活動や特活で課題発見力、解決力、じっくり考える力が養われていると答えている。日本独自の特活(TOKKATSU)は、近年アフリカやアジアでも注目、導入されている一方で、教員の働き方改革との両立が課題となっている。

いずれにしても保護者は学校に対して、人間にしかできない活動に期待を寄せ、価値を認めている。急速にAIが普及する社会のなかで、人間がさらに養うべきこと、学校にできることを考える局面に来ていることは間違いなさそう。

フリーコメント④ /

AIに代替されにくい能力を学校で養えていると思う理由

保護者

- 子どもと話していると、学校生活の中で私の思いもよらないことまで考えているんだなと時々ハッとさせられることがあります。一見なんでもないような学校での日常体験の中で、AIには代替されにくい力が養われていると思います【富山】
- 探究学習について子どもから聞いている限り、課題発見、解決能力はある程度鍛えられていると感じられます。【岩手】
- 高校に入って自分で考え行動することが多くなり、課題や困ったこともよく考え解決しているように見受けられます。【東京】

図10 【高校生】最新のテクノロジーの活用方法について学校で学ぶ機会の有無(全体/単一回答)

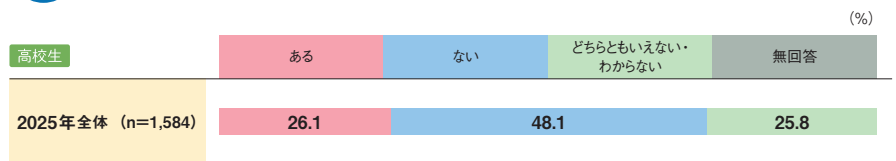
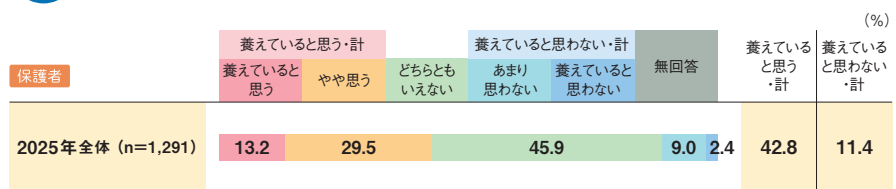


図11 【保護者】学校における「AIで代替されにくい能力」の養成有無(全体/単一回答)



「高校生と保護者の進路に関する意識調査2025」の詳細はリクルート進学総研のWebページで公開中

隔年で実施している「高校生と保護者の進路に関する意識調査」は今回で12回目。本誌ではAIが高校生に与えている影響の設問を中心にご紹介しましたが、2025年調査の全文は、リクルート進学総研のWebページ「レポート・調査」で見ることができます。進路選択における親子コミュニケーションの現状、進路を考えたときの高校生や保護者の思いや行動、探究活動などの教育改革に対する評価、家

庭と高校の役割、学校に対する要望などについて、高校生と保護者のそれぞれの考えについて報告しています。時系列での変化も踏まえた状況や、誌面では紹介しきれなかった高校生と保護者の生の声を多数お伝えしています。ぜひご覧ください。

進学総研Webサイト
<https://souken.shingakunet.com/research/>

